

Voilà! C'est la vie!

カメルーンからこんにちは!

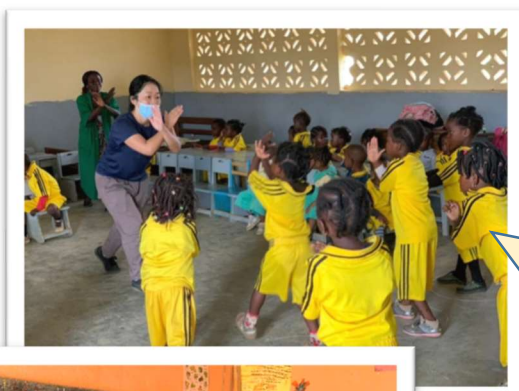
2022年6月 N°5 (cinq)

JICA 海外協力隊 2021 年度3次隊 小島由紀子

Bonjour, ça va? (こんにちは、お元気ですか?) 私の住む街、バフィアでは毎日雨が降るようになりました。今回は私の活動について少し紹介します。

ところで... カメルーンに行って、何をしているの?

私は、JICA海外協力隊として、今、カメルーンにきています (JICA海外協力隊については、おたより1号を見てね。)。JICA海外協力隊の活動にはさまざまなお仕事の種類がありますが、私は「青少年活動」という仕事として、バフィア市の幼稚園と小学校のとりまとめをしている「教育委員会」で仕事をしています。ここでの私の一番大事な活動は、幼稚園に行って、幼稚園の先生に活動のアドバイスをしたい一緒に子どもたちに教えたいことです。



幼稚園や小学校のある日には、私も学校へ行きます。先生たちと一緒に子どもたちに教えたり、先生の授業を見てお話ししたりしています。



教室にあるものは、黒板と椅子と机。おもちゃや算数ブロック、時計、楽器、自由帳などありません。鉛筆や色鉛筆は、人数分ないので順番に使います。画用紙や折り紙などもありないので、お絵描きなどの活動も難しいです。

先生方はいつも、「子どもたちに教える道具がなくて困っている」「子どもたちが使う道具がなくて困っている」と話します。日本では簡単にできる物の用意が、ここでは難しいことが多いです。



今あるものを使って、どんな活動ができるか、どうしたらみんなが楽しい授業ができるかを先生方と一緒に考えます。



子どもたちに、「幼稚園がとても楽しい!」先生たちにも、「子どもたちとすごすことが楽しい!」と、思ってもらえるように、これからもお手伝いをしていきます。



カメルーンでみーっけ!



この写真をじっくり見て考えてみよう! **何をしている写真かな? どんな道具を使っているかな? 日本と似ているところはあるかな?**



この女の子は、ちょうど夕食を作っているところです。カメルーンの料理「クスクス・マイーズ」という主食になる料理を作っています。「マイーズ」とはフランス語で「トウモロコシ」のこと。その名の通り、材料は水とトウモロコシ粉だけ。トウモロコシ粉を沸騰させたお湯に入れて、ぐるぐるかき混ぜると、だんだんドロツとしてきます。何度も何度もこの長い棒でかき混ぜるのが、おいしくなるポイントです。なぜ、こんなに長い棒を使うのかわかりますか? それは、中のトウモロコシ粉がとても重くなり、混ぜるのに力があるから、また鍋の上はとても熱いからです。日本では料理をするとき、普通の箸よりも長い「菜箸」を使って料理をすることがありますね。それと似ているかもしれません。この棒は、クスクスを作るときに欠かせない道具です。

この子が料理を作っているこの場所は、外にある小さな小屋です。薪や枝を用意して火をおこして調理します。カメルーンのおうちにはガスやガスコンロもありますが、ガスはとても高いので、たくさん火を使うときには、外で火を使うそうです。外で作ると、こぼしてしまっても、お掃除が簡単。生ごみも小屋の裏にポイッとすぐ捨てることができます。



この女の子は16歳。8歳の時から家族のご飯を作っていて、料理が大好きだそうです。将来は、警察官になりたいと話していました。完成した「クスクス・マイーズ」は、「ソース・ルコック」というカメルーンの野菜で作ったスープのようなソースに付けて食べます。クスクス・マイーズは少し

冷めるとモチっとした食感になって、私も大好きなカメルーン料理の1つです◎♪